

強い意志を表現する目もと、親近感を伝える口もと 目もと、口もとの形状変化による印象評価を400名に実施

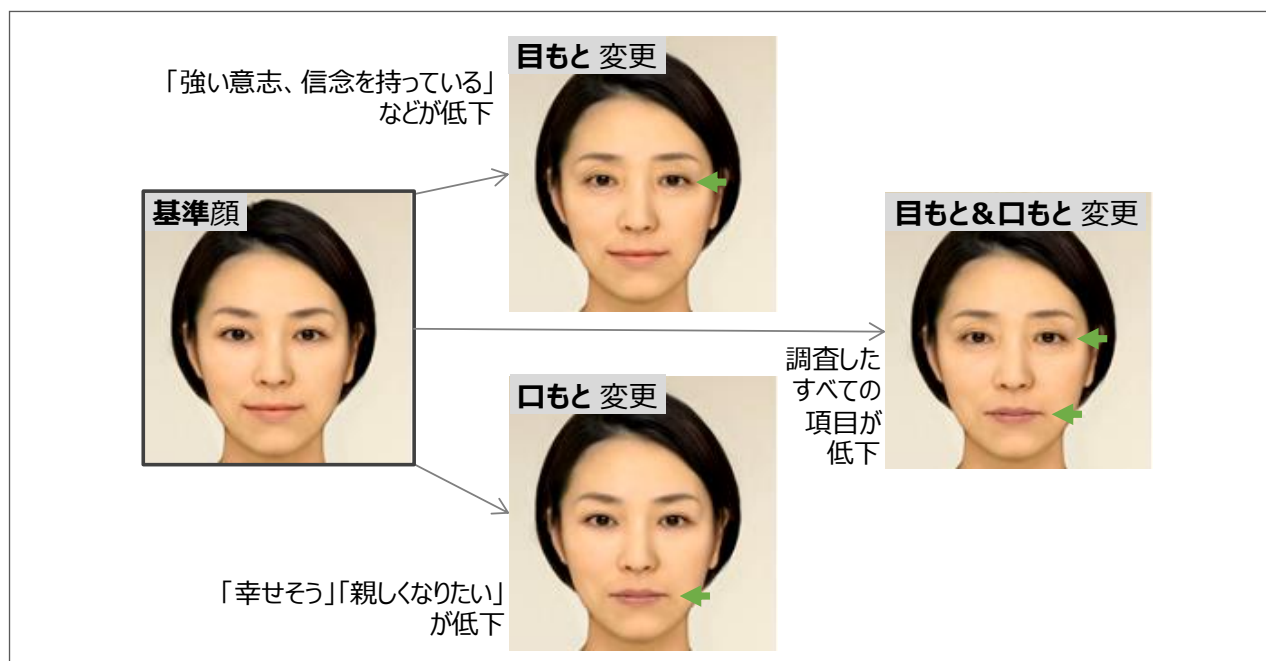
ポーラ・オルビスグループのポーラ化成工業株式会社(本社:神奈川県横浜市、社長:釘丸和也)は、目は「その人物の意志の強さ、知性、自信」などに関する印象を、口は「親近感」の印象を左右することを明らかにしました。この研究成果は今年12月に開催されるヒューマンコミュニケーショングループシンポジウム2018で発表いたします。またこの知見は、今秋に発売されるポーラの商品をはじめ、ポーラ・オルビスグループの商品に活用される予定です。

人物のCG画像で印象を評価

「目は口ほどに物を言う」という諺がありますが、目や口は果たして何を語るのでしょうか？目もとや口もとの部分の形状変化が進むと、他人から見たその人物の内面の印象にどのような影響を与えるのかを調べる研究を行いました。基準顔として複数の女性の顔を合成した画像を用意し、目もとまたは口もとに対し加齢により生じる形状変化を再現した画像を作りました。これらの画像を20～50代女性に見せ、画像の人物の印象を評価していただき比較しました(補足資料)。

目もとの見た目からは、意志の強さなどを感じ取っている

目もとに形状変化を施した顔は、基準顔や口みに加工を施した顔よりも「強い意志、信念を持っている」「イキイキ、ハツラツとしている」「知性と気品がある」「自信に満ちていて、頼りたくなる」の印象が有意に下がりました(図1)。形状変化が進むと目尻が下がりやわらかい表情に見えたり、ちりめんじわが増えて目の印象がぼやけたりするため、意志の強さ等を感じにくくなるのではないかと考えられます。つまり目もとは意志の強さを語るパーツといえます。



口もとの見た目からは、その人物と親しくなりたいか、幸せそうかを判断している

「親しくなりたい」「幸せそう」の項目については、口もとに形状変化加工を施した顔のほうが基準顔や目に形状変化加工をした顔よりも有意に下がりました(図1)。形状変化が進むと、たるみにより口角が下がるため、不機嫌であるかのような印象を与えてしまうためだと考えられます。つまり口もとは親近感や幸福度を語るパーツといえます。

このように、目と口は別々の印象に影響していました。自分をうまく表現し周囲とコミュニケーションをとるためにも、パーツごとのケアが大切であるといえます。

【補足資料】 画像の印象評価について

●画像加工

目まわりの加工：上まぶたのくぼみ、たるみ、くすみ、下まぶたのふくらみ、目の下のシワを付与。

口まわりの加工：唇に縦シワと乾燥感、扁平、くすみ、輪郭のぼやけを付与。

●評価項目

- ① この女性は、強い意志、信念を持っている
- ② この女性は、イキイキ、ハツラツとしている
- ③ この女性は、知性と気品がある
- ④ この女性は、自信に満ちていて、頼りたくなる
- ⑤ この女性は、幸せそう
- ⑥ この女性と親しくなりたい

※各画像が何歳に見えるかについても評価いただきました。

●評価方法

Web アンケートにて 20～50 代女性 400 名（各年代 100 名）に評価いただきました。

①～⑥全くそう思わない～非常にそう思う の 10 段階で評価いただきました。

●期間

2018 年 4 月 13 日(金)～16 日(月)

●各画像の見た目年齢

基準顔: 35 歳

目もとにのみ老化加工した顔: 基準顔+11.5 歳(46.5 歳)

口もとにのみ老化加工した顔: 基準顔+3.5 歳(38.5 歳)

目もとと口もとに老化加工した顔: 基準顔+14.8 歳(49.8 歳)